

## ■ 成果

### III 高岡の技術を活かして創る平成の御車山

### 建築士・職人・市民・行政と連携

<p>○ 御車山のいわれ 高岡御車山は、前田利長が7ヶ町の町民に与えたとされている。その後、御車山は、地場産業の漆工、会工の技術で豪華絢爛に飾られた。</p> <p>○ 平成の御車山 新しくできる御車山会館に展示する「平成の御車山」を高岡の技術を活かして創る。</p>	<p>高岡の技術を活かした御車山製作</p> <p>↑ デザインの決定 →</p> <p>↑ 案の公募</p> <p>↑ 建築士会が受託</p> 	 <p>高岡の技術で創る御車山</p>
--	--	---

### II 市民のまちづくり意識の向上

### 建築士・学生・市民・行政と連携

<p>○ 高岡開町 400 年記念市民提案事業 高岡は 2009 年、開町 400 年を迎え、私たちは、高岡開町 400 年記念市民提案事業「高岡の都市模型で未来を語ろう！」を建築士・富山大学・高岡工芸高校の学生・生徒など約 100 名の協働で高岡都市模型（1/1000）の制作や未来を考えるワークショップを開催し、そのことを通して、高岡近代建築マップづくりに展開していった。</p> <p>○ 高岡近代建築マップづくりへ 高岡のまち 4.5km×2.7km の範囲を 1/1000 の都市模型を製作。私たちも含め、高岡のまちを上空から眺めることで、町割りや町の歴史を考えるきっかけとなった。また、市民の方も、「景観」を考えるきっかけとなり、建築士の存在をアピールできた。 模型を製作するための現地調査を通して、今も残る歴史的価値のある近代建築を発見し、次年度の活動につながった。</p> <p>○ 高岡の建築とまちづくりネットワーク 下記の 4 団体で構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(社) 富山県建築士会高岡支部</li> <li>・(社) 富山県建築士事務所協会高岡支部</li> <li>・富山大学芸術文化学部</li> <li>・高岡工芸高等学校建築科</li> </ul> <p>建築士・学生・高校生・の協働作業で活動できたことは意義のある取組だったと思う。このネットワークは、単年度だけでなく、次年度における建築マップづくりの活動にもつながった。</p>	
---	---

### I まちなみづくり

### 建築士・市民・行政と連携

<p>建築士会高岡支部は、昭和 60 年頃から山町筋の土蔵造りの町並みを活かそうと、町並みの素晴らしさについてのイベント、写真展、フォーラムなどを開催し市民にアピールを行いました。そのような活動が、まちなみ調査実測や、当町が持っている御車山 7 基の各部材の実測調査・出版、ワークショップと建築士、市民、行政の連携に繋がりました。</p> <p>平成 12 年に山町筋が伝統地区に選定され、平成 13 年度から修景事業が始まり、これまで主屋の修理は 70% に達している。平成 20 年からは道路整備・無電柱化事業が行われている。まちづくりとして、土蔵造りフェスタ、天神様まつり、籠まつりが行われ、賑わいを創出している。まちづくりが、金屋町、古久、伏木へと広がっている。</p>	<p>今年度伝統地区に申請予定の「金屋町」</p> 	<p>景観整備に向かう「古久」</p> 	<p>ワークショップが始まっている「伏木」</p> 
<p>美しくなっていく「山町筋」</p> 			



## ■ 高岡と「高岡の建築とまちづくりネットワーク」

高岡は、前田利長の町立て(1609年)以来、江戸時代から明治時代には物資集散の拠点都市として発展した。中でも山町筋は、商業活動の中心として隆盛を極めた。また、高岡は、複数の伝統的な町並みと2大近世寺院を持っている。

昭和60年、建築士会高岡支部は山町の土蔵造りの宝物を見つけ、土蔵造りを残そうという活動から始まって30年、着実に美しいまちなみづくりへの活動、行政、住民、建築士が協働した活動、高岡の技術を活かした活動、市民のまちづくり意識を高める活動等多面的に拡がっています。その活動経過と成果を紹介します。




## ■ 活動経過

平成	土蔵の町の景観整備と賑わいづくりへの活動	町並みづくりへの活動	高岡の技術を活かす活動	まちづくりに繋がる活動	
24	<p>・町並み保存 平成10年から国庫補助による修理事業が開始され平成13年、23年の間に主屋修理29件、土蔵等修理7件、修景6件、空地修景3件で特定物件である主屋の修理は70%に達している。</p> <p>・改修事例</p> 	<p>1. 土蔵造りフェスタ 平成13年から実施</p>  <p>2. 天神様祭り・龍祭り 天神様祭りは13年度、龍祭りは12年度から実施</p> 	<p><b>金屋町</b> ・ワークショップ(平成13年度) 「高岡市街地の再生の取組」(平成13年度)</p> <p><b>吉久</b> ・ワークショップ(平成13年度) 「高岡市街地の再生の取組」(平成13年度)</p> <p><b>伏木</b> ・ワークショップ(平成13年度) 「高岡市街地の再生の取組」(平成13年度)</p> <p>その他、高岡市内の建物の保存調査、実地調査業務を受ける。</p>	<p>○平成の御車山実地設計 (24年度)→建築士会委託業務 平成の御車山デザイン (23年度)→建築士会委託業務</p> <p>○平成の御車山のテーマは「風流噴けり、彼の高き岡に。哲持主ず、彼の勲徳に」とし、400年の歴史、歴史館の再現も実施。</p> 	<p>○建築士会、事務所協会、富山大学、高岡工業高校「高岡の建築とまちづくりネットワーク」を結成</p> <p>○高岡近代建築マップ かいどがいど(伏木・吉久編)</p>  <p>○高岡近代建築マップ かいどがいど(旧北陸道)</p>  <p>○都市模型製作(21年度)</p> 
12	<p>○「山町筋」重要伝統的建造物群保存地区に選定</p>	<p>○ 地方都市中心の街地の魅力づくり支援事業(ワークショップ)</p> 			
11	<p>建築士と行政が連携した計画書づくり</p> <p>平成3年から平成11年の間に、コンサルタント、建築士会、と行政が連携して各種計画書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山町筋歴史的景観形成 整備計画</li> <li>・土蔵のある山町筋まちづくり整備計画調査</li> <li>・土蔵造りのある山町筋建物修景ガイドライン</li> <li>・高岡市土蔵のある町並み活用計画</li> <li>・景観マニュアル</li> </ul> 	<p>建築士・住民・行政が連携した御車山ア基調査</p> <p>文化財保護保全を図るため、また、御車山の情報を広く市民の方に提供し、文化財に対する理解を深めていただくため、住民・行政・建築士・各専門家連携し、毎年、御車山!基づく実地調査し、報告書を作成した。このことを通して、建築士は、地元の方と親交を図ることにつながり、また、私たち建築士は、文化財に触れることのできる喜びや御車山の部材ひとつひとつを実地調査することで、興味や親しみを持つことにつながった。</p> 	<p>イベント集団として</p> <p>震災・音楽家の支援</p>  <p>東京の雰囲気を高岡で!</p> 		
2 昭和 60	<p>高岡の宝物発見・アピール</p> <p>昭和60年頃に、高岡に「土蔵づくり」の建物を発見。建築士が土蔵造りの素晴らしさを認識すると同時に、地元の方たちはそのことに気付かず建て替えられていくという危機感を持った。そこで、「高岡」を知ることが大切であることから、「高岡の町並み写真展」「土蔵づくりの町並み勉強会」「土蔵づくりの町並み写真/パネル」等の活動を行った。</p> 				